

果樹病虫害発生予察調査結果（8／10調査分）  
（三条、加茂、田上地域）

8月10日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共通）

- 猛暑と乾燥が続いており、ハダニ類の発生が多くなっています。葉裏をよく確認して寄生状況を把握し、丁寧な防除を行いましょ。また、9月上中旬頃に主幹や主枝基部に古布や古新聞を巻き付けて12～1月に外すバンド誘殺を行い、越冬数を減少させましょ。
- ナシヒメシンクイの誘殺数が増加しており、モモ新梢の芯折れも多数確認されています。誘殺ピークはモモ園地で8月中旬から9月上旬、ナシ園地で8月下旬から9月上旬と予想され、この時期が防除時期です。今後、被害の中心はモモからナシへと移りますので、ナシ園地では特に注意が必要です。

（ナシ）

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- セイヨウナシ褐色斑点病は、新梢先端部を中心に発生が確認されています。「ほうき枝」となる勢いのある徒長枝は8月中にせん除ましょ。
- 一部園地で新梢先端部にニセナシサビダニによる被害が確認されており、葉がかすり状に退色するモザイク症状が見受けられます。被害が多い場合は、被害部位の摘み取りや臨時防除を実施ましょ。
- 一部園地で黒星病の発生が確認されています。晩生品種の果実肥大後期に入ると、気温の低下も相まって果実感染しやすくなることから、り病葉・り病果を確認した場合は早期に除去し、感染拡大を防ぎましょ。

## (モ モ)

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- 多くの地点でせん孔細菌病り病葉の発生が確認されています。引き続き防風対策や夏型枝病斑の除去を実施しましょう。
- 一部で、モモハモグリガによる被害が確認されています。早期落葉を防止するため、収穫後防除を実施しましょう。
- 今回調査ではカイガラムシ類による被害は確認されませんでした。例年お盆頃にふ化ピークを迎えます。発生が多い場合は被害部位の摘み取りや、枝をブラシでこする等の対応を行ってください。

## (ブドウ)

調査地点ごとに100葉、100果房を調査しました。

- 今回調査では病虫害の発生はごく少なかったものの、台風7号での風雨の状況によっては病害の多発も考えられますので、風雨が弱まり次第、園地状況を丁寧に観察しましょう。

※今後も暑い日が続くので作業中の熱中症にも注意し、十分な水分補給等を行ってください。

◇ 次回調査は8月25日(金)です。

担当 : 中越支所 果樹共済係
TEL : 0258-36-8105
FAX : 0258-34-8020